

九重の高原から

TAKE FREE

九重ふるさと自然学校通信

Vol. 42

2018. 秋号

さとぼる時間

九重のさとぼる【里の草原】で育まれてきた自然や文化、そしてそこに流れるようなのんびりとした時の流れを感じてほしいという願いを込めて、「さとぼる時間」と名付けました。

生きもの豊かな
田んぼをめざして

- ・生きものブランド化進行中!
- ・くじゅうびと「生きものと共に 安心安全なお米を」
- ・スタッフ兒島の平成最後の夏レポ
ふるさと探検クラブ&はんだベジたべる
- ・体験プログラム(自然・里山)参加者募集!
- ・STAFFあとがき



一般財団法人
セブン-イレブン記念財団

九重ふるさと自然学校

生きもの調査を通じて も〜っと生きものと共生できる田んぼづくりへ。

当校が実践するお米と共にたくさんの生きものを育む「自然共生型田んぼ」。その田んぼをフィールドとして定期的に生きものを調査する活動が「田んぼサロン」です。自然共生型田んぼでは、オタマジャクシがいる間は田んぼを干さない水管理や、1年中水を張ったビオトープの整備など、生きもののために効果があると思われる取り組みをしています。それらの取り組みが実際に効果的かどうか生きものを調べることでわかります。

2016年度から開始し、これまで24回、延べ46名の方にご協力いただいて実施しています。その結果、ビオトープを整備した田んぼでは、整備前には見られなかったアカハライモリやツチガエルが見られるようになってきていることがわかりました。このことから、この田んぼに整備したビオトープが有効に機能していることが裏付けられたと言えます。

今後も魚道の設置など、さらに整備を続けながら田んぼサロンを継続し、「自然共生型」として有効な取り組みを確立・紹介していきたいと思えます。



田んぼに隣接するビオトープ。ブルーシートを張れば、水路から水が供給されない時期でも雨水などが溜まりやすくなる



イモリの幼生



ツチガエル

田んぼサロンで一緒に生きものを探しませんか？ 参加者募集中です！

九重の様々な分野で活動する人にお話を聞く連載記

くじゅうびと

Vol.13

生きものと共に
安心安全なお米を



このえ
NPO 法人九重夢創造塾 副塾長
ながお むねただ
永尾 宗忠さん



大分県九重町・飯田高原の米どころ、千町無田。広大な美田が広がるこの場所で“朱鷺夢米”^{ときゆめまい}を永尾さんは生産している。朱鷺夢米は、自然豊かな里山の象徴であるトキもすめるような環境づくりと安心安全なお米を提供しようと、九重夢創造塾に加入する会員が取り組むブランド米だ。

種子は農業に頼らないお湯による消毒、栽培は有機肥料のみを使用し、農薬は除草剤1回のみが基本。あとの草取りは人力だ。筑後川最上流域の美しく、ミネラル豊富な水とともに育まれる朱鷺夢米。農薬の使用量や田んぼの水質などは、トキ生息地の佐渡やコウノトリで有名な兵庫・豊岡で認証された生きものブランド米にも引けを取らないだろう。

清冽な水、澄んだ空気、多様な生きものたち。自然豊かな九重で生まれたお米というだけで魅力も価値もあるが、これからは生きものとの生息環境や棲みやすさにも配慮した米づくりを！と舵を切り始めている。永尾さんもその考え

に賛同するお一人だ。

「昔は大雨で大水がでると、田んぼに行くのが楽しかった。田んぼに行くとフナやアブラメ（タカハヤの地域名）、エノハなどの魚が田んぼの中や水の取入れ口の堰下の溜まりにいっぱいいた」と永尾さん。「今は水路がU字溝になったことで、川とのつながりが薄くなってしまった。川と田んぼのつながりを見直して、田んぼの中にビオトープを作ったり、年中水がある状態にして生きものを呼び込みたい。そして、朱鷺夢米がより評価され、作り手がかつと町内に広がっていけばなあ」。

永尾さんの夢は続く〜



今夏、当校で生きもの調査にお邪魔させていただいた永尾さんの田んぼ。手前が約30mのビオトープ

自然学校での実践をもとに 九重町産米の 生きものブランド化に取り組み中!

九重町には減農薬(一部は無農薬)でお米を生産されている方が多くいます。また、九重町は筑後川の源流域の一つであることから、その源流からの水が田んぼに常時流れ込んでいます。これらの“安心・安全度合”は他地域の生きものブランド米と比較しても、まったく見劣りしないどころか、上回っているとすら言えるでしょう。このような九重町の田んぼに生きものの生息に配慮した農法を加えれば、すばらしい生きものブランド米になるのでは? そんな思いから自然学校では今年度から地域の田んぼの生きもの調査をさせていただいています。九重町ならではの生きものブランド米の可能性に自然学校もワクワクしています!



九重連山をバックに、イトミミズ&ユスリカ調査の風景。彼らは、田んぼの生きものたちのエサとなると同時に分解者でもあり、田んぼの元気な土を作ってくれる大切な仲間



ユスリカの幼虫

コオイムシ

ドジョウ

イトミミズ

筑後川をとおしてふるさとの自然を体験 「ふるさと探検クラブ」

ふるさとの自然をもっと知って、体験して、好きになって、ふるさを誇れる大人になってほしい。テーマは「筑後川」。筑後川の源流域に暮らす九重町の小中学生を対象に、源流域の森から有明海までを探検し、生きものや自然の違いを感じる体験活動が「ふるさと探検クラブ」です。九重町、九重町教育委員会と共催で年4回ほど活動しています。

今年は「川と人の暮らし」に焦点をあて、漁業、林業の話を書き、魚釣りや伐採(見学)、ツリークライミングなどを体験しました。ハイライトは夏休みの有明海キャンプ。川が行きつく先、海での活動です。子どもたちは干潟にわくわく。川のものとは姿形の違う海の生きものと触れ合ったり、伝統漁法「マジック釣り」をしたり、様々な体験をしました。

活動を通して、川と海が繋がっていることや、川から得られる恵みや災害について感じてもらえたようです。これらの体験から、自分のことだけでなく、水を流したその先の人たちのことまで考えられるようになってもらえればと思います。

マジック釣りの釣具は毛筆の筆。なわばりに入ってきた敵を押し出す習性を逆手にとり、筆で釣り上げる!



スタッフ兒島の

2018 SUMMER

やりました! こんなトあんなト

飯田高原の伝統野菜を守り、広める活動

「はんだベジたべる

～食べよう! 伝統野菜～」



太くてつるんとして、実がしっかりした「地キュウリ」。一見ウリのようにも見えますが、生のまま野菜スティックにして食べると、みずみずしいキュウリそのもの。地這いキュウリとは別品種で「その土地のもの」という意味の「地」です。種採り・栽培を繰り返して、飯田の土や気候に少しずつ適応してきました。“昔からその土地で栽培・利用・種採りをされてきた在来種”のことを当校では「伝統野菜」と呼んでいます。「地方野菜」や「地元ゆかりの野菜」と呼ばれることもあります。今では栽培する人も、野菜を知る人も少なくなり、食文化や野菜の多様性が消失の危機にあります。

そこで、昨年度から九重町の飯田公民館と共催で飯田の伝統野菜の料理体験会を企画。伝統野菜の魅力に気づき、栽培者が増えるよう、新たなレシピ開発や苗の配布などを行っています。レシピ開発では地キュウリを揚げてみました。意外とイケます(もちろん、炒めても煮てもおいしい)。



普通のキュウリとくらべてもその大きさは歴然!

写真はすべて地キュウリを使った料理。お漬物以外にも広がる地キュウリの可能性(左から時計回りに肉詰め、中華スープ、ゼリー、酢物、担担麺)

自然・里山へGO! 体験プログラムに参加しませんか?

国民文化祭・おおい 2018

特別企画

絵本の世界に飛び込もう! ～親子でひらくセンス・オブ・ワンダー～

10/13(土)・14(日) 両日10:00～15:00

参加費無料/定員各回30名程度(1組4名まで)

- 対象: 幼児・小学生とその保護者
- 申込方法: 下記E-mail宛てに、参加希望日、参加者全員の氏名、住所、年齢、代表者の電話番号を送信下さい。
- 申込締切: 9/27(木)まで
- 申込先:
kujyu-sizengakkou@7midori.org

※応募者多数の場合は抽選とし、9月末頃メールで通知します。

*森のシンガーソングライター・山田証さんの“ぞろんコンサート”
*ペットボトルでマラカス作り
*絵本の読み聞かせ など!



冬の九重バードウォッチング

12/8(土) 9:30～12:00

冬の清流で川の鳥も里の鳥も楽しみましょう!

初心者の方、大歓迎です

大人500円/子ども(小・中学生)300円/定員10名

田んぼの生きものしらべ～秋～

10/13(土) 13:30～16:30

秋のテーマは“バッタのくらし”。

思いっきり生きものをさがそう!

大人500円/子ども(小・中学生)300円/定員20名

ボランティアワークキャンプ

11/23(金・祝)13:30～24日(土)14:00

ドラム缶による炭焼き体験と野焼きの防火帯整備にご加勢ください。夜は温泉と楽しい語らいを!

参加費無料/学生・社会人対象/定員14名

さとばるの森林づくり

10/7(日) 10:00～15:30

野ネズミと森林のつながりとは?

苗木作りのためのドングリ拾いや野ネズミの観察など。チョウの調査は最終回!

11/17(土) 10:00～15:30

おいしく学ぶ! 里山の森林のコト

植えた木の手入れや花炭づくりなど、里山の循環を一緒に感じましょう。昼食付!

参加費無料/小学生以上対象

定員各回15名

*大分県森林環境税を活用し実施します

さとばるクラフトDAY

10/8(月・祝) ススキのフクロウづくり

ススキの穂で、ふわふわの可愛いフクロウを作ろう♡

11/10(土) フォトフレームづくり

どんぐり、小枝など秋の自然素材でデコっちゃおう!

各回10:00～16:00(最終受付15:30)

体験料1回200円

事前申込不要。時間内はいつでも体験OK!

九重のんびりハイク。

錦秋の九州自然歩道と温泉探訪

10/28(日) 9:00～16:30

ススキ輝く湿原と紅葉に染まる森林めぐり。

下山後は歴史ある名湯で癒されましょう!

大人1,500円/子ども(小・中学生)1,000円

※入湯料込みの金額です。定員20名

プログラムの詳細は

ホームページをご覧ください。



ホームページはこちら

上記は現在受付中のプログラムです。未掲載のものはキャンセル待ちとなっています。

STAFF さがき

今年は飯田高原以外の田んぼの生きものを調査させていただく機会に恵まれました。同じ九重町内ですが、標高の違いからか、生きものにも違いが見られます。写真はヌマガエル。飯田高原では見かけたことがありませんでした。(阿部)



さとばるの森林づくりでチョウの卵や幼虫を探しに出かけました。チョウは幼虫の食べる植物が決まっています。環境変化に弱い生きもの。写真はコムラサキの幼虫。来年も見られるように森林づくりをすすめます。(指原)



今年からはじめた、さとばるの田んぼ。親子向け体験プログラム「おやとこ」で田植えをして2カ月と少し経ち、ついにイネの花が咲きました。このまま稲刈り、収穫祭まで無事に迎えられるように!(児島)



お問合せ 九重ふるさと自然学校

(運営:一般財団法人セブン・イレブン記念財団)

〒879-4911

大分県玖珠郡九重町大字田野1624-34 (事務所)

TEL 0973-73-0001 FAX 0973-79-3434

✉ kujyu-sizengakkou@7midori.org



ホームページ
<http://www.7midori.org/kokonoe>

facebookでも
情報発信中!



さとばるMAP



事務所MAP